

## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 PALTEK

コード番号 7587 URL <http://www.paltek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役オペレーションサービスディビジョン本部長 (氏名) 井上 博樹

TEL 045-477-2000

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	17,423	39.9	599	0.8	573	0.9	332	1.9
25年12月期第3四半期	12,453	26.2	594	—	568	—	326	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 332百万円 (1.5%) 25年12月期第3四半期 327百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	29.11	—
25年12月期第3四半期	28.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	12,794	8,515	66.6
25年12月期	10,886	8,274	76.0

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 8,515百万円 25年12月期 8,274百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	33.4	780	0.9	800	2.2	470	5.9	41.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社テクノロジー・イノベーション、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	11,849,899 株	25年12月期	11,849,899 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	430,937 株	25年12月期	430,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	11,418,962 株	25年12月期3Q	11,419,972 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の反動減により個人消費の伸び悩み等があったものの、雇用環境の改善や企業収益増加による設備投資の回復等により景気は緩やかな回復基調を継続いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、民生機器分野はグローバル競争の激化により低迷しておりますが、産業機器分野は企業の設備投資の回復等により堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社グループは、半導体事業においては通信インフラへの投資が足元では弱含むものの前年同期と比較し堅調なことを受け、FPGA(※1)や特定用途ICが増加し、また複合機等のオフィス機器向けの汎用IC、計測機器、医療機器、放送機器向けのFPGA等が堅調に推移したことを受け、売上高は大幅に増加いたしました。デザインサービス事業においては、医療機器向けの設計受託及びODM(※2)が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高につきましては174億2千3百万円(前年同期比39.9%増)となりました。営業利益につきましては、売上総利益率が前年同期よりも大幅に低下したこと、販売費及び一般管理費がH.265コーデック装置の開発費用及び平成26年6月に設立し、新たに連結子会社となった株式会社テクノロジー・イノベーションの事業運営費用が発生したこと等により増加しましたが、売上高が大幅に増加したことにより5億9千9百万円の営業利益(前年同期比0.8%増)と前年同期を若干上回りました。売上総利益率の大幅な低下については、次の2つが主な要因となります。一つは、前年同期においてドル円相場が急激な円安に進行したことにより、当社が仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額が大幅に増加し、原価を2億4千9百万円押し下げたため、売上総利益率は上昇しました。反対に、当第3四半期連結累計期間においてドル円相場は直近では大きく円安に進行しておりますが期間中は概ね安定的に推移していたため、仕入値引ドル建債権の評価額は5百万円増加し、売上総利益率を若干上昇させるにとどまりました。この仕入値引ドル建債権の評価益に大きな差があるため、当第3四半期連結累計期間の売上総利益率は前年同期に比べ大きく低下しました。もうひとつの要因は、半導体事業において売上総利益率の低い案件の売上高が前年同期に比べ増加したことです。これらにより売上総利益率は18.7%から14.7%に低下しました。

また、経常利益につきましては、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からのH.265コーデック装置開発の助成金として補助金収入を計上した一方で、為替差損及び支払手数料等を計上したことにより5億7千3百万円の経常利益(前年同期比0.9%増)となりました。四半期純利益につきましては3億3千2百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと

(※2) ODM(Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の分析

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億7百万円増加し127億9千4百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品、未収入金が増加したこと等によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ16億6千6百万円増加し42億7千9百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円増加し85億1千5百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億5千3百万円増加し、20億5千2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産及び未収入金が増加したこと等により、1億9千8百万円の支出(前第3四半期は27億3千9百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として無形固定資産を取得したことおよび平成26年6月に設立し、新たに連結子会社となった株式会社テクノロジー・イノベーションにおいて、事業譲受による支出が発生したこと等により、3千6百万円の支出(前第3四半期は3千8百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新規借入れを実施したこと等により、10億8千6百万円の収入(前第3四半期は27億2千3百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式会社テクノロジー・イノベーションを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,198,732	2,052,079
受取手形及び売掛金	4,562,222	4,448,677
商品	2,258,154	2,546,132
未収入金	1,767,604	2,643,962
未収消費税等	390,763	347,560
その他	104,210	157,409
貸倒引当金	△1,216	△1,123
流動資産合計	10,280,471	12,194,697
固定資産		
有形固定資産	152,348	136,464
無形固定資産		
のれん	9,042	19,584
その他	134,838	123,760
無形固定資産合計	143,881	143,344
投資その他の資産		
その他	310,374	320,264
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	310,244	320,134
固定資産合計	606,474	599,943
資産合計	10,886,946	12,794,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	759,136	958,148
短期借入金	880,000	2,080,000
未払法人税等	153,379	224,457
賞与引当金	40,325	136,395
その他	455,931	545,914
流動負債合計	2,288,773	3,944,915
固定負債		
退職給付引当金	37,407	68,419
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	129,016	108,302
固定負債合計	323,924	334,221
負債合計	2,612,697	4,279,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,526	2,698,526
利益剰余金	4,435,612	4,676,647
自己株式	△199,525	△199,525
株主資本合計	8,274,248	8,515,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	221
その他の包括利益累計額合計	—	221
純資産合計	8,274,248	8,515,504
負債純資産合計	10,886,946	12,794,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,453,535	17,423,853
売上原価	10,119,694	14,869,046
売上総利益	2,333,840	2,554,807
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	725,287	725,193
貸倒引当金繰入額	208	△92
賞与引当金繰入額	79,986	135,622
のれん償却額	1,808	2,458
その他	932,063	1,092,258
販売費及び一般管理費合計	1,739,354	1,955,439
営業利益	594,486	599,367
営業外収益		
受取利息	64	62
補助金収入	8,408	34,838
保険解約返戻金	12,057	—
その他	10,930	3,789
営業外収益合計	31,459	38,690
営業外費用		
支払利息	5,553	7,900
為替差損	29,790	21,911
支払手数料	11,378	15,098
売上債権売却損	7,904	14,885
その他	3,251	4,864
営業外費用合計	57,878	64,660
経常利益	568,067	573,397
特別損失		
事業再編損	10,647	—
特別損失合計	10,647	—
税金等調整前四半期純利益	557,420	573,397
法人税、住民税及び事業税	72,901	286,925
法人税等調整額	158,188	△45,914
法人税等合計	231,089	241,011
少数株主損益調整前四半期純利益	326,331	332,386
四半期純利益	326,331	332,386

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,331	332,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,527	221
繰延ヘッジ損益	△8	—
その他の包括利益合計	1,519	221
四半期包括利益	327,850	332,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,850	332,607
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	557,420	573,397
減価償却費	36,534	41,471
のれん償却額	1,808	2,458
貸倒引当金の増減額(△は減少)	208	△92
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,266	96,069
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,355	31,011
受取利息及び受取配当金	△64	△62
支払利息	5,553	7,900
為替差損益(△は益)	△43,342	14,909
補助金収入	△8,408	△34,838
事業再編損	10,647	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,051,857	113,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,736,680	△290,752
仕入債務の増減額(△は減少)	295,512	199,011
前受金の増減額(△は減少)	△3,772	55
前渡金の増減額(△は増加)	△983	354
未収消費税等の増減額(△は増加)	10,479	220,533
未収入金の増減額(△は増加)	△763,377	△892,537
その他	△58,140	△95,852
小計	△2,697,551	△13,401
利息及び配当金の受取額	64	62
利息の支払額	△6,306	△7,876
補助金の受取額	8,408	34,838
事業再編による支出	△54,844	—
法人税等の還付額	24,744	1,847
法人税等の支払額	△13,752	△213,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,739,238	△198,014
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53,907	△6,267
無形固定資産の取得による支出	△133,132	△16,442
投資有価証券の売却による収入	1,245	—
資産除去債務の履行による支出	△18,784	—
事業譲受による支出	—	△13,000
子会社投資の払戻による収入	117,101	—
その他	49,006	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,470	△36,009
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,680,000	1,200,000
自己株式の取得による支出	△4,008	—
配当金の支払額	△57,042	△91,439
リース債務の返済による支出	△13,189	△22,334
セール・アンド・リースバックによる収入	117,558	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,723,318	1,086,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	1,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,399	853,346
現金及び現金同等物の期首残高	1,739,109	1,198,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,684,709	2,052,079

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。